

3. アンケート調査結果について

別紙資料 2

長者原スマートインターチェンジ

地域住民アンケート実施概要	・・・・・・・・	1 P
地域住民アンケート調査様式	・・・・・・・・	2 P
地域住民アンケート調査結果	・・・・・・・・	3～8 P
周辺企業ヒアリング実施概要	・・・・・・・・	9 P
周辺企業ヒアリング結果	・・・・・・・・	10～12 P

平成29年度の取組：地域住民アンケート

スマートIC周辺の住民に対し、スマートICの利用状況や利用促進に向けた課題等を調査するためのアンケートを、大崎市の業務委託により行った。

1) 実施概要

対象者	<ul style="list-style-type: none">▶ スマートICから半径3km(隣接ICとの境界付近)以内の大字居住者▶ 住民基本台帳より、18歳以上の方を対象に無作為抽出
調査方法	<ul style="list-style-type: none">▶ 上記で抽出した対象者への郵送配布・回収
調査時期	<ul style="list-style-type: none">▶ 平成29年11月28日(火)から12月22日(金)まで
配布数	<ul style="list-style-type: none">▶ 1,000部
回収数	<ul style="list-style-type: none">▶ 351票

平成29年度の取組：地域住民アンケート

2) アンケート調査様式

長者原スマートIC利用に関するアンケート

設問1 長者原スマートICの利用状況について、あてはまる番号に○をつけてください (1つだけ)。

①長者原スマートICを知らない ②知っているが利用したことがない ③利用したことがある
 ⇒設問7へ ⇒設問6へ ⇒設問2へ

設問2 長者原スマートICの平日・休日及び夜間(22～6時)の利用状況についてお聞きします。主な利用目的、夜間の利用状況について、下記の選択肢よりあてはまる番号に○をつけてください。また、利用頻度、主な先行IC名をご記入ください。

平日	主な利用目的(1つだけ)	①通勤・通学	②業務(通勤以外の仕事利用)	③買い物
	利用頻度(どれか1つに記入)	④通院	⑤観光・レジャー	⑥その他()
	主な先行IC名	() IC ※主なものを1つ。IC名不明の場合は地域名を記入下さい。		
休日	主な利用目的(1つだけ)	①通勤・通学	②業務(通勤以外の仕事利用)	③買い物
	利用頻度(どれか1つに記入)	④通院	⑤観光・レジャー	⑥その他()
	主な先行IC名	() IC ※主なものを1つ。IC名不明の場合は地域名を記入下さい。		

■夜間(22～6時)の利用について(※平日・休日あわせた状況についてご記入ください)

夜間の利用状況(1つだけ)	①利用できることを知らなかった	②利用したことがない	③平日に利用したことがある
主な利用目的(1つだけ)	④休日に利用したことがある	⑤平休とも利用したことがある	
主な利用目的(1つだけ)	①通勤・通学	②業務(通勤以外の仕事利用)	③買い物
利用頻度(どれか1つに記入)	④通院	⑤観光・レジャー	⑥その他()
主な先行IC名	() IC ※主なものを1つ。IC名不明の場合は地域名を記入下さい。		

設問3 長者原スマートICの満足度について、下記の項目別に、どの程度あてはまるか○をつけてください(各項目につき1つ)。

項目	満足度	満足	まあまあ満足	やや不満	不満	わからない
①スマートICへの案内標識の分かりやすさ						
②仙台・岩手各方面への乗り口の分かりやすさ						
③アクセス道路の走りやすさ						
④アクセス道路走行時の安全性						
⑤スマートIC料金所ゲートの通りやすさ						
⑥長者原サービスエリアへの立ち寄りやすさ						
⑦便利施設(コンビニ等)への立ち寄りやすさ						
⑧スマートIC周辺での待合せや乗合のしやすさ						
⑨冬季のアクセス道路の除雪状況						

⇒裏面に続きます。

設問4 長者原スマートICができたことによる日常生活の変化について、下記の選択肢よりあてはまる番号に○をつけてください(いくつでも)。

①通勤・通学ルートが変わった ②業務の効率化が進んだ ③買い物の機会が増えた
 ④通院ルートが変わった ⑤観光・レジャーの機会が増えた ⑥その他()
 ⑦特に変化はない

設問5 長者原スマートICの24時間化による利用回数、利便性の変化について、下記の選択肢よりあてはまる番号に○をつけてください。

利用回数(1つだけ)	①利用が増えた	②今後、増えると思う	③変わらない
利便性(いくつでも)	①渋滞時間を避け時間短縮を図れた	②利用時間が広がり外出の機会が増えた	③夜間割引の利用で高速料金が節約できた
	④時間制限がなくなり運転に余裕が持てた	⑤その他()	⑥特に変化はない

設問6 設問1で②を選んだ方にお聞きします。長者原スマートICを利用しない理由について、下記の選択肢よりあてはまる番号に○をつけてください(いくつでも)。

①スマートICへの行き方が分からないため ②スマートICの利用方法が分からないため
 ③スマートICまでのアクセス道路が走りにくいため ④他のICの方が速くなるが料金が安くなるため
 ⑤スマートICが距離的・時間的に遠いため ⑥コンビニなどの便利施設に立ち寄るため
 ⑦カーナビでは案内されないため ⑧ETCを利用していないため
 ⑨高速道路を利用しないため ⑩その他()

設問7 皆様にお聞きします。長者原スマートICへのご意見、ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。(利用についての課題、どうしても利用しやすくなるか等、なんでも結構です。)

最後に あなたご自身についてお聞きします。年齢、性別、職業、ETC装着状況について、あてはまる番号に○をつけてください。また、お住まいの大字をご記入ください。

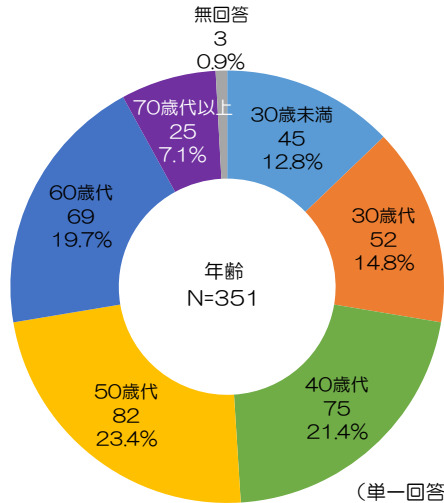
年齢	①30歳未満	②30歳代	③40歳代	④50歳代
	⑤60歳代	⑥70歳代以上		
性別	①男性	②女性		
職業	①会社員	②公務員・団体職員	③自営業	④パート・アルバイト
	⑤学生	⑥主婦・主夫	⑦無職	⑧その他()
ETC装着状況	①自身の車に装着	②家族の車に装着	③装着していない	
お住まい	大崎市古川()			

以上でアンケートは終了です。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

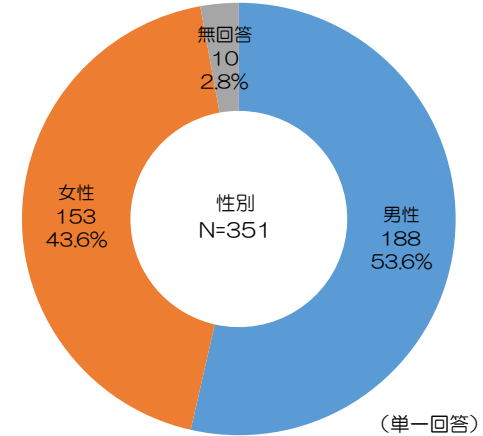
平成29年度の取組：地域住民アンケート

3)-1 アンケート結果

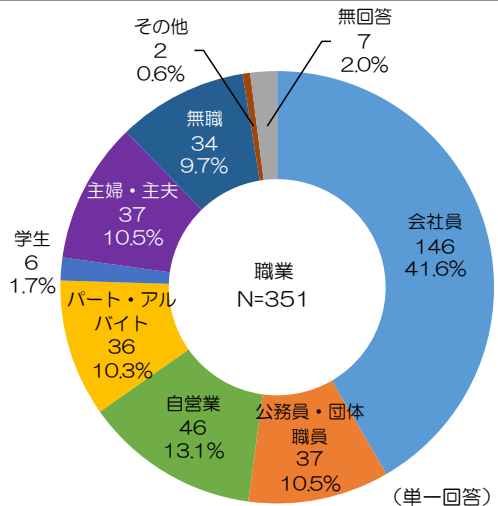
属性：年齢



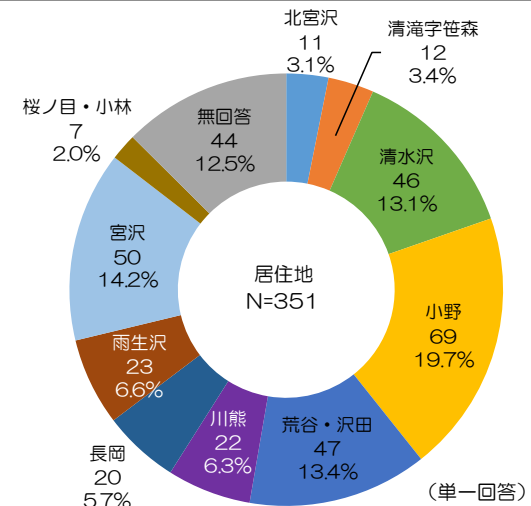
属性：性別



属性：職業



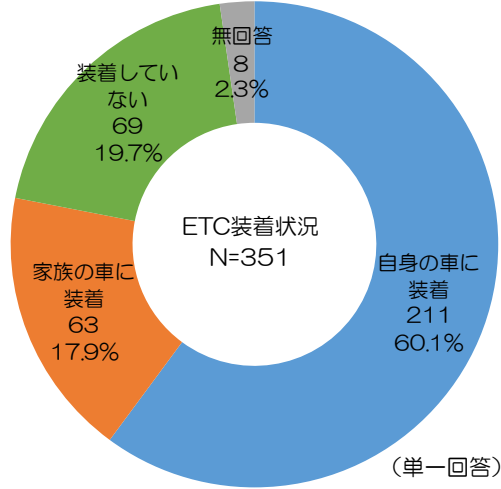
属性：居住地



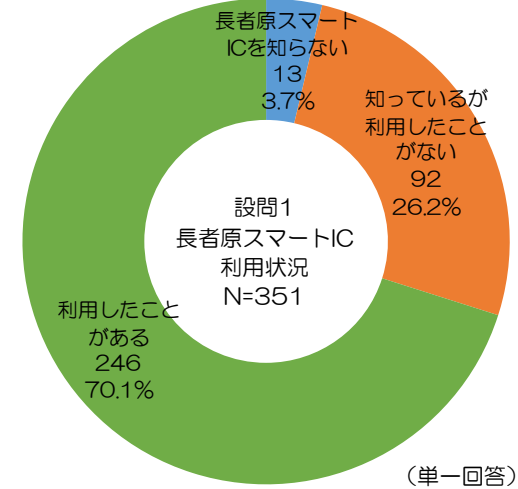
平成29年度の取組：地域住民アンケート

3)-2 アンケート結果

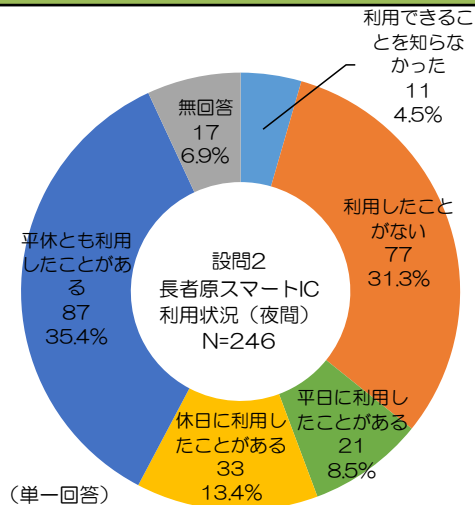
属性：ETC装着状況



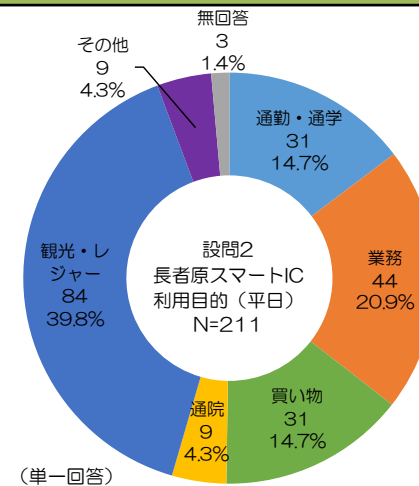
問1：スマートICの利用状況



問2：スマートICの夜間利用状況



問2：スマートICの利用目的（平日）

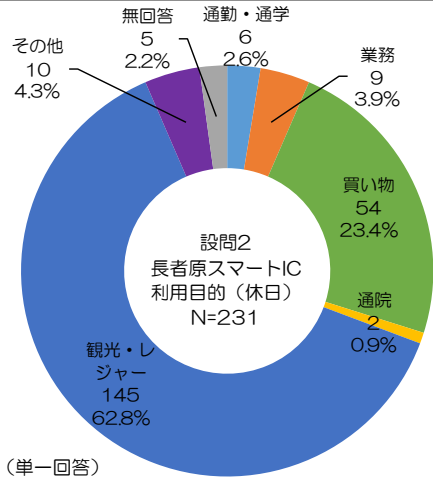


「平日には利用しない」35件を除く

平成29年度の取組：地域住民アンケート

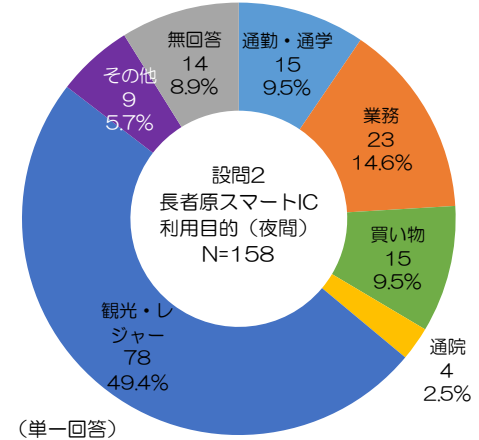
3)-3 アンケート結果

問2:スマートICの利用目的(休日)



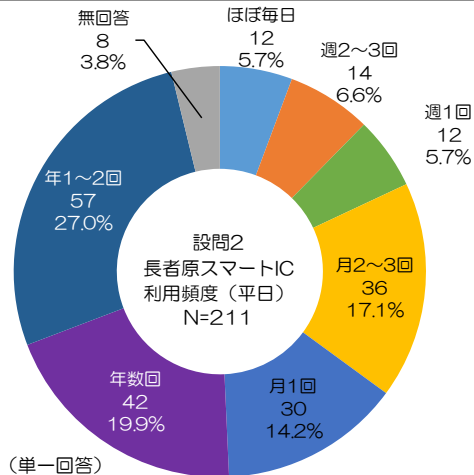
「休日には利用しない」15件を除く

問2:スマートICの利用目的(夜間)



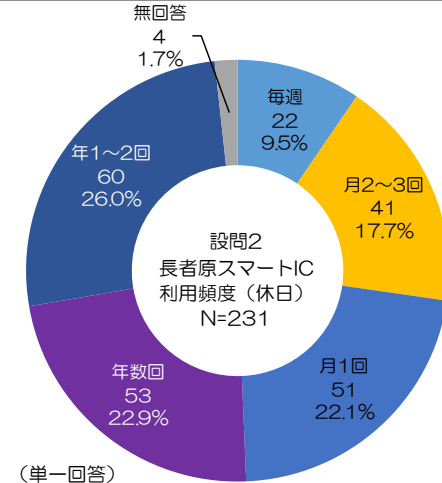
「利用できることを知らなかった」
「利用したことがない」88件を除く

問2:スマートICの利用頻度(平日)



「平日には利用しない」35件を除く

問2:スマートICの利用頻度(休日)

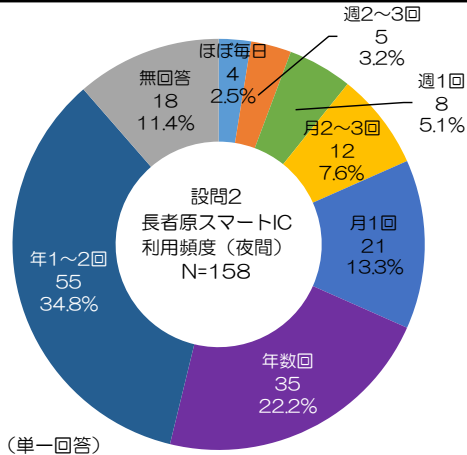


「休日には利用しない」15件を除く

平成29年度の取組：地域住民アンケート

3)-4 アンケート結果

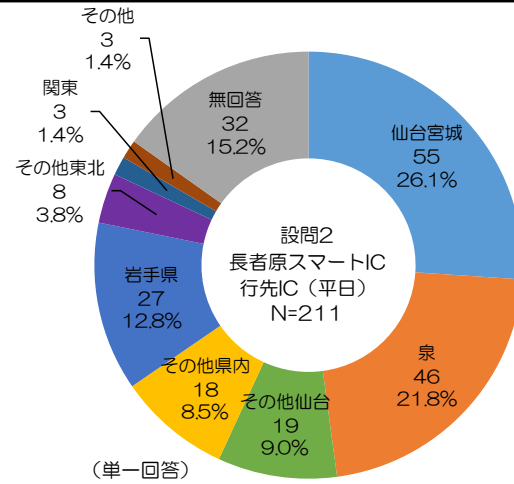
問2：スマートICの利用頻度（夜間）



(単一回答)

「利用できることを知らなかった」
「利用したことがない」88件を除く

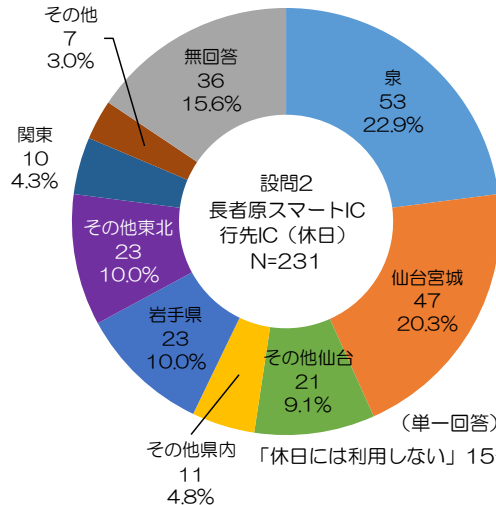
問2：スマートICの主な行先IC（平日）



(単一回答)

「平日には利用しない」35件を除く

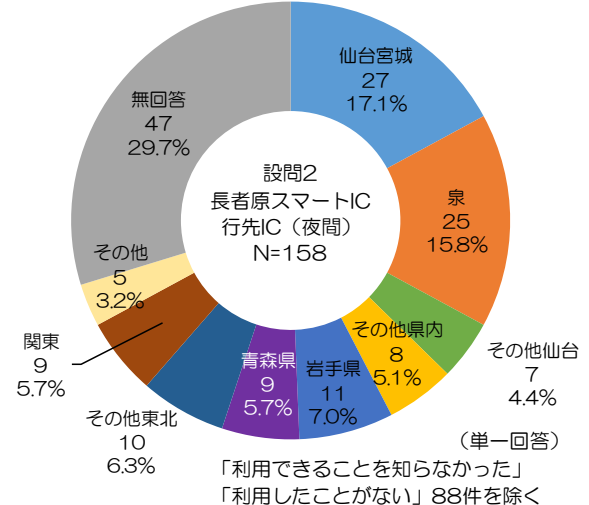
問2：スマートICの主な行先IC（休日）



(単一回答)

「休日には利用しない」15件を除く

問2：スマートICの主な行先IC（夜間）



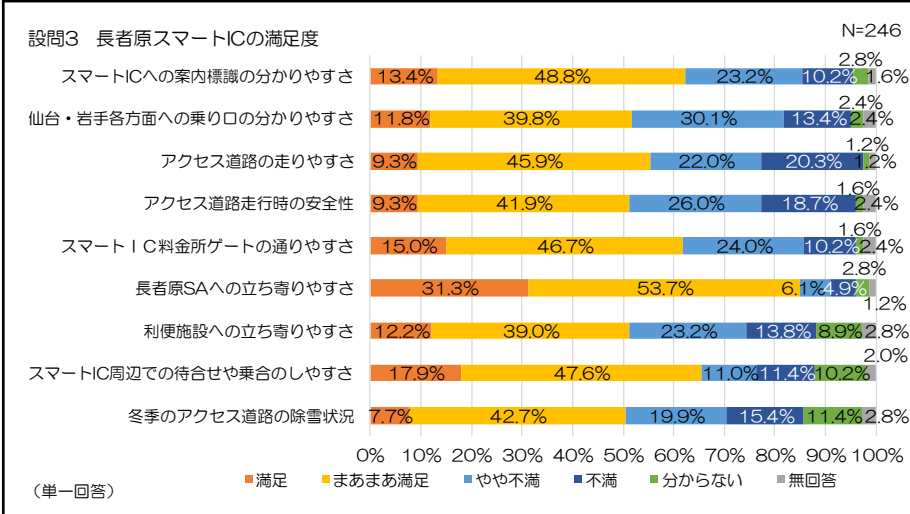
(単一回答)

「利用できることを知らなかった」
「利用したことがない」88件を除く

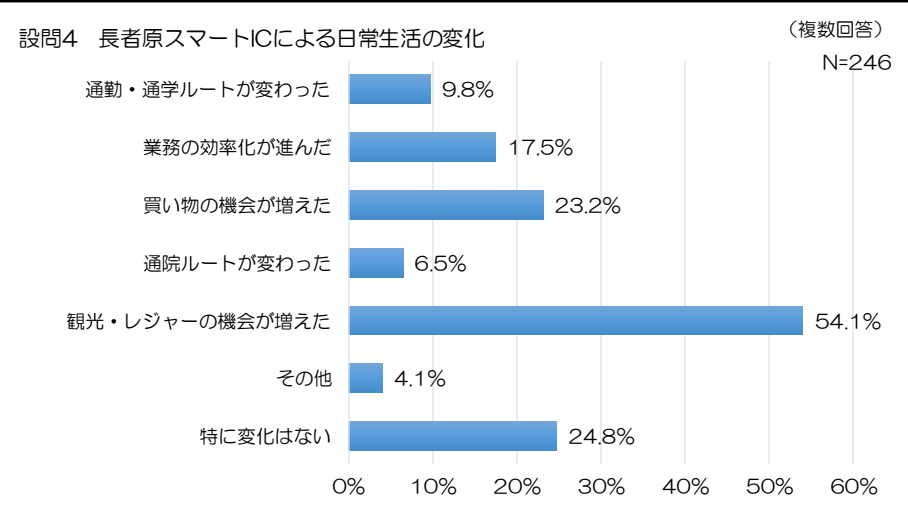
平成29年度の取組：地域住民アンケート

3)-5 アンケート結果

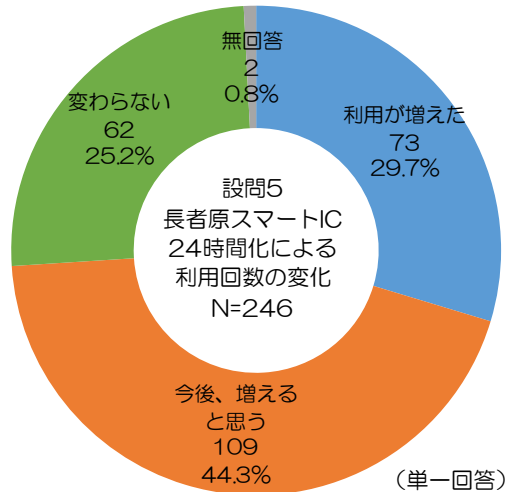
問3:スマートICの満足度



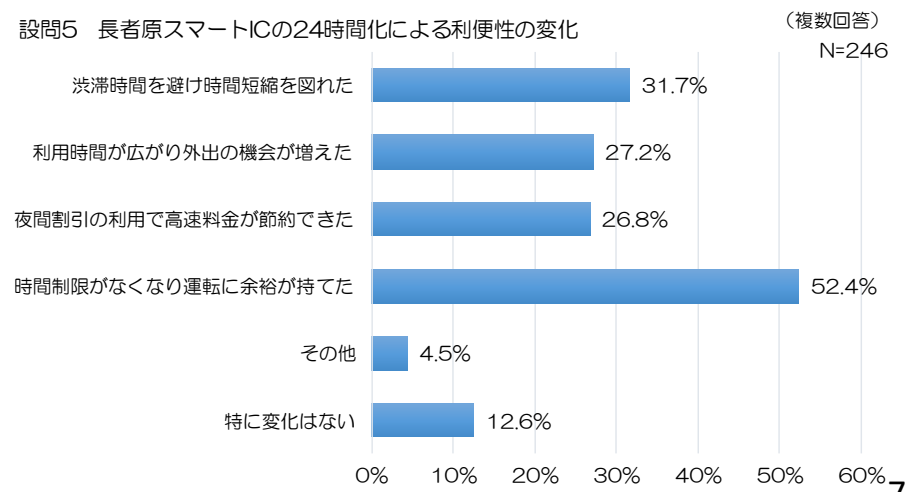
問4:スマートICによる日常生活の変化



問5:スマートIC24時間化による利用回数の変化



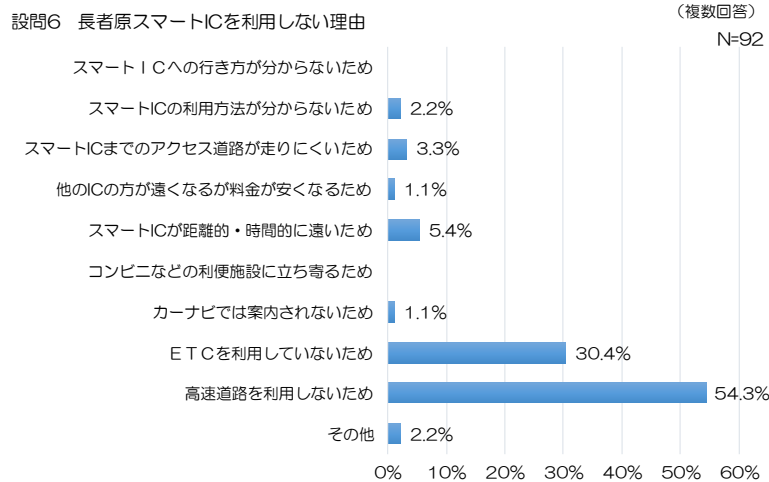
問5:スマートIC24時間化による利便性の変化



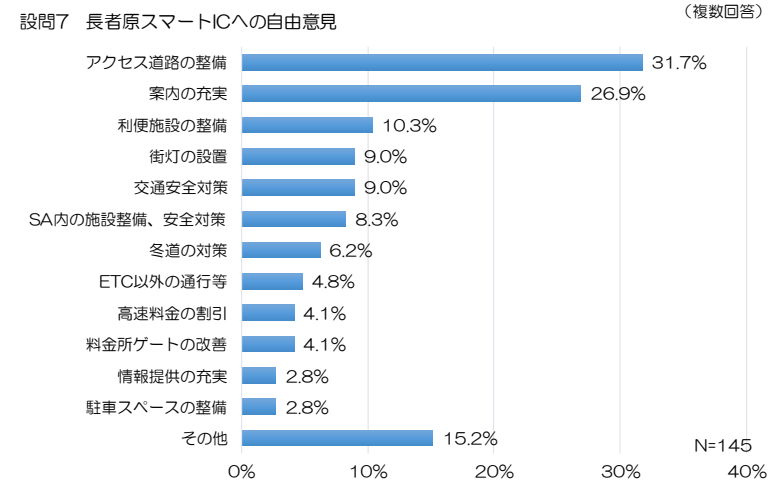
平成29年度の取組：地域住民アンケート

3)-6 アンケート結果

問6:スマートICを利用しない理由



問7:スマートICへの自由意見



問7:スマートICへの自由意見(抜粋)

- 大和ハウス脇の国道4号線までの間の道路が不便です。(60歳代・男性)
- 長者原スマートICで降りた場合、ゲートからすぐに右折可として広域道路に出られるようにしてほしい。ただその際は舗装にしてください。国道4号線が整備され、古川～仙台が1時間弱に短縮されている。急ぎでないときは国道を使うなど、高速代金の低減に努めている。料金の見直しをされては？(60歳代・男性)
- 国道4号線から離れており少々わかりにくいので、距離と道順があるとわかりやすい。入口に、もっと多くの案内板を。上りは子供の遊び場やドッグランも広く、また、バーベキューエリアも自由に使えるととても良い環境です。(60歳代・女性)
- ETCの出口へ向かう際、SAの駐車場の車とぶつからないか不安です。出口へ向かう表示などがあると良いと思います。(30歳代・女性)
- 付近住民に対して、ETCの取り付け補助を行う。(60歳代・女性)
- スマートIC利用者に対する高速料金の特別割引制度(大崎市により補助など)の新設を希望する。(60歳代・男性)

平成29年度の取組：周辺企業ヒアリング

スマートIC周辺の企業に対し、スマートICの利用状況や利用促進に向けた課題等を調査するためのヒアリングを、大崎市の業務委託により行った。

1) 実施概要

対象企業	➤ スマートIC周辺企業3社
調査方法	➤ 訪問によるヒアリング(1社は郵送配布・FAXでの回答)
調査時期	➤ 平成29年12月7日、12日
その他	➤ 対象企業の選定は、平成27年度に実施したアンケート調査対象企業から行った。

平成29年度の取組：周辺企業ヒアリング

2)-1 ヒアリング結果

スマートIC の利用状況	<ul style="list-style-type: none">➤ 市内に立地する企業では、スマートICは岩手方面への移動で主に利用されており、福島方面へは事業所の立地位置(桜の目、沢田工業団地)との関係から、古川ICが使われている。➤ 一方、築館市に立地する企業では、福島方面への利用がみられる。➤ スマートICの利用は県外(北側)までの広域トリップが主となっているが、時間に制約がある場合は、若柳金成ICや大衡ICまででも利用する企業もある。➤ 自動車販売業者では、24時間での修理対応を行っており、夜間での修理依頼があった場合、スマートICの夜間利用が発生している。➤ 平成27年度のアンケートでスマートICの夜間利用があった企業では、案件の終了や運送の外部委託により、現在では夜間利用はほとんどなくなっている。➤ 各社とも、従業員の通勤利用はみられない。
スマートIC 利用の阻害 要因	<ul style="list-style-type: none">➤ 各社とも営業車(大型車含む)にはETC装着済みであり、ETC専用であることがスマートIC利用の阻害要因とはなっていない。➤ 12m超の大型車の利用(顧客の利用も含む)もみられるが、12m規制が解除されたとしても、アクセス道路が整備されなければスマートICは利用しないとのこと。現状は周辺ICへ迂回している。➤ 12m超の車両でなくとも、顧客の大型車で移動する場合は、安全面を考慮して周辺ICへ迂回している。➤ スマートIC周辺の工場への搬送車両が、アクセス道路が狭いためスマートICを利用せず、古川IC等から迂回している状況があるとのこと。
スマートIC 整備前の企 業活動	<ul style="list-style-type: none">➤ 岩手方面は築館ICからの転換が確認された。➤ スマートICの整備により、これまで一般道で向かっていた近距離トリップも、新規の高速利用になったケースがみられた。

平成29年度の取組：周辺企業ヒアリング

2)-2 ヒアリング結果

整備効果	<ul style="list-style-type: none">➤ 整備効果としては、時間短縮が図られたとの意見が多く、緊急時の対応で助かっているとの声があった。➤ 自動車販売業者からは、長者原SAからの修理依頼が多いため、スマートIC整備によりSAに直接乗り入れての対応が可能となり大変便利になったとの意見があった。➤ スマートICが24時間化されたことで、夜間の緊急対応でも利用でき、サービスの向上につながった、深夜割引時間帯に利用できることで経費の削減につながったとの声があった。➤ 国道4号等周辺道路の渋滞緩和については、各社とも特に感じられないとの回答であった。
スマートIC や周辺環境 の課題	<ul style="list-style-type: none">➤ アクセス道路、案内看板への意見が多く、以下の点が課題としてあげられた <p>【アクセス道路】</p> <ul style="list-style-type: none">• 大型車同士のすれ違いが困難なため、片側1mずつの拡幅や交差点部の整備等、小規模改良だけでも行って欲しい。• スマートIC直近のアクセス道路はアップダウンもあり見通しが悪い。• 冬季に凍結した場合は大型車が登れなくなる危険性があり、利用に不安がある。• 市道宮沢高清水線は乗用車であってもすれ違い困難であり、冬季の利用は避けている。整備を是非進めてほしい。 <p>【案内看板】</p> <ul style="list-style-type: none">• 国道4号からの案内を、事前予告を増やす等強化して欲しい。• スマートICから降りた後の案内が不十分。乗る方向だけでなく、こちらの案内も充実させて欲しい。 <ul style="list-style-type: none">➤ その他、スマートICの料金所ゲートが開くのが遅いことが危険に感じるとの意見があった。

平成29年度の取組：周辺企業ヒアリング

2)-3 ヒアリング結果

スマートIC の利用促進 に必要な取 り組み	<ul style="list-style-type: none">➤ 各社から以下の意見が寄せられた。• 利用増については高速を利用するエリアで仕事が発生するかどうかの問題で、周辺の整備状況に依存するものではない。• 直近のアクセス道路だけでなく、国道4号からつながる道路まで整備されれば、岩手方面への移動では、料金節約のためにも、スマートICを利用するようになるのではないか。• 岩出山方面からの利用を促すため、国道47号からのアクセス道路を整備し、案内看板等で誘導を行えば、岩手方面への移動では古川ICではなくスマートICが選択されるのではないか。
事業所立地 場所選定へ のスマート ICの影響	<ul style="list-style-type: none">➤ 事業所立地選定には高速アクセスが重要とする回答と、多少は考慮するとの回答に分かれた。➤ より大きな選定要因としては、必要な敷地の確保と地代があげられた。➤ 現状、営業車へのETC装着は標準となっているため、通常のICとスマートICで大きな差異は感じられないとのこと。